

平和を守るために憲法9条の改悪を許しません！ 日本国憲法を私たちの生活にいかしていきましょう！

憲法は私たちが国家権力をしるものです

安倍首相は、一昨年の憲法記念日に、「2020年を新憲法施行の年にしたい」と述べました。憲法擁護義務のある首相自ら改憲を明言したことに、多くの市民は強い違和感を覚えました。それは、憲法というのは、私たち市民が個人の権利や自由を守るために国家権力をしるものだからです。権力をもつ人が都合よく憲法を変えることなど絶対に許されません。

ウソばかりの政治はごめんです まったく政治の実現を！

自衛隊日報問題や、森友・加計学園疑惑、そして働き方改革で示された資料など、あまりに多くの公

文書の隠ぺいや改ざん、そしてウソがまかり通っている事実に私たちは愕然とさせられました。真実があきらかにされないなか、今度は統計不正の発覚です。国の根幹がここまで腐りきっていたことは極めて深刻です。隠ぺいや改ざんなどのウソはもうこりこりです。戦前も政府はウソばかりついで国民を戦争に駆り立てたことを、私たちは忘れてはいません。ウソを平然とついでいる官僚や政治家が、子どもにウソをつくなとは絶対に言えないでしょう。憲法を変えるよりも、国民にウソをつかないまっとうな政治をとるもどすことの方が大切です。

戦争をする国にさせてはなりません

安倍首相は改憲の理由として、自衛隊募集に自治体の6割以上が協力を拒否している(事実は違います)とか、自衛官の子どもがお父さんは憲法違反なのかと

泣く子どもがいるからだと述べました。こんな理由で私たち市民が納得すると思っているのでしょうか。以前は憲法学者の7割が自衛隊が違憲だということ改憲の理由にしていた。理由がころころ変わるのはいけません。それはどれも本当の理由ではないからです。安倍首相の本音は、日本をアメリカと一緒に戦争のできる国にしたいだけなのです。武力で平和をつくることは絶対にできません。平和憲法をもつ日本こそが平和外交に徹すべきです。

安倍首相は「みっともない憲法だ」と言っていますが、アメリカに言いわたる政治のほうのみっともないと私たちは思います。トランプ大統領の求めるままに膨大な武器を買うお金を教育や福祉にまわすべきです。

安倍政権は憲法を守るべきです！

民主主義の否定は許しません！

沖縄県民投票で新基地建設反対という圧倒的民意が示されました。それにもかかわらず、安倍政権は投票結果を無視して辺野古への土砂投入を強行しています。この暴挙は地方自治の否定であり民主主義社会にあってはならないことです。安倍政権は憲法を無視してのます。憲法を守らない政権に、憲法を変えさせるわけにはいきません。私たちは、安倍政権による改憲発議を絶対に許しません。平和で自由な社会を守るために、戦争反対！9条改憲阻止！安倍政権退陣の声をあげ続けます。子どもたちを戦場に送る国にしないために一緒に声をあげていきましょう。

浜 矩子の平和を守るためのメッセージ

闇を切り裂く光。それが日本国憲法だと私は考えています。帝国主義の闇に鋭利に切り込む民主主義の光。国家主義の闇に黒さを余すところなく照らし出す人権至上主義の輝き。日本国憲法の言葉はこうした光に満ち溢れています。この光を消し去る。再び、闇の帳で我々の社会を覆いつくす。それが、安倍政権による改憲、いえ、壊滅のたくらみです。

日本国憲法前文の中に次の一節があります。「日本国民は、(中略)平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」なんと素晴らしい決意であることか。我が身の安全そして生存までも、他者の公正と信義に委ねる。何たる勇気。何たる良識。積極的平和主義という言葉を使うのであれば、この決意こそ、その真髓だと考えるべきところです。

ところが、安倍晋三首相は、憲法前文のまさにこのくだりについて、「つまり、自分たちの安全を世

界に任せますよと言っている。」と指摘し、そのことが「いじましい」、「みっともない」という認識を披露しているのです(ネットTV番組で)。「自分たちの安全を世界に任せます」と言い放ることこそ、真の強さです。この真の強さを軸にしているからこそ、日本国憲法の光は闇を切り裂く。闇の暗さをはねける。

閣下軍は、日本国憲法の光の言葉が飾って仕方がない。だから、何とかもみ消そうとしているのです。そうは我々が許さない。決して許さない。



同志社大学大学院ビジネス研究科専門職学位課程教授 浜 矩子

戦争をさせない埼玉県 1000人委員会

- 呼びかけ人: 伊藤 修 (埼玉大学教授), 長内 経男 (市民ジャーナル発行人), 大日方 昂 (千葉大学名誉教授), 片岡 明幸 (部落解放同盟埼玉県連委員長), 鎌倉 孝夫 (埼玉大学名誉教授), 小寺 隆幸 (公益法人 原爆の国 丸木美術館理事長), 斎藤紀代美 (外国人学校・民族学校の制度的保障を実現するネットワーク・埼玉), 坂本 洋子 (ジャーナリスト)

5.3憲法集会 有明・東京臨海防災公園 5/3(金)11:00 START. 平和といのちと人権を! 5.3憲法集会2019 許すな! 安倍改憲発議. サブステージ(11:00~) 自由な選択! トークイベント. メインステージ(12:00~15:00) オープニングコンサート(12:00~) 旗手イノセンスバンド. サブステージ(11:00~) 自由な選択! トークイベント. メインステージ(12:00~15:00) オープニングコンサート(12:00~) 旗手イノセンスバンド. サブステージ(11:00~) 自由な選択! トークイベント. メインステージ(12:00~15:00) オープニングコンサート(12:00~) 旗手イノセンスバンド.

※ この広告は趣旨に賛同する多くの個人、団体の皆さんのカンパによって作られました。お名前を公表した以外の個人、団体から多数のご賛同をいただきました。